

2022年度【前期】新型コロナウイルス感染症に対応した 施設利用およびスクールバス利用ガイドライン

1. 学生食堂利用および昼食喫食場所について

(1) 両キャンパス共通事項

- 喫食前の手洗いおよび手指消毒を徹底(ハンカチを携行し手洗い時に使用)する。
- 喫食利用施設に消毒液等を設置する。
- 喫食前後に施設に設置されているペーパータオルで自席を消毒する。
- 喫食時は私語禁止とする。

(2) 胎内キャンパス

- 入退者の交差による接触抑制のため、非常階段を利用した一方通行とする。
- 給茶機は利用禁止とする。
- 胎内キャンパスの喫食場所として、F102 大講義室、J201・202 講義室、I201・202 講義室、L401・402 講義室、L棟5階多目的室(和室部屋)を開放する。
※ 食堂内の混雑緩和のため、極力弁当等を持参し講義室での喫食を推奨する。

(3) 新潟キャンパス

- 新潟キャンパスの喫食場所は A103 学生ラウンジ、A201 大講義室、A202・203 講義室を開放する。

2. スクールバス利用について

- 乗車時に検温を実施し 37.5 度以上または平熱より 1 度以上高い場合は乗車不可とする。
- マスク未着用者は乗車不可とする。
- 車内での私語を慎むこと。
- 窓開けによる運行中の換気(雨天時は 25 分毎に停車換気)を行う。

3. 体育館利用について

(1) 利用者のルール

- 利用前に「体調管理チェックシート」を事務局に提示する(2週間前からのデータ)。
- 体育館への入館時は、入口に設置してある消毒用アルコールを用いて手指を消毒する。
- 利用時には、窓及びドア(囲場側)を開けて換気する。
- 体育館内囲場側のドア付近に大型扇風機を設置し、体育館内の空気を館外へ排出する。
- 利用時には、他者との距離(できれば 2.0 m 以上)を確保する。
- 利用時には、マスクもしくはマスクに類するものを着用することとする。ただし、他者との距離を十分確保できる場合には、マスク着用に伴う十分な呼吸量が確保できないことによる身体への悪影響および熱中症などを防ぐために、マスクを外しても良いこととする。
- 大声での会話や発声を伴う応援等は禁止する。
- 水分補給を行う際には、ボトル等の回し飲みを禁止する。

- 利用後には、使用したボールやラケット、トレーニング機器等を必ず使用者が消毒用アルコールおよびペーパータオルを用いて消毒する。
- 汗拭き等で利用するマイタオルを持参する。
- トレーニングスペースの利用に際しては「トレーニングスペース個人利用ルール」を遵守する。

(2) 実施可能種目

- コンタクトを伴わない種目および高い身体活動量を必要としない種目(例：卓球、バドミントン、バレーボール)のみに限定し多人数での実施を許可する。ただし、卓球やバドミントン等はシングルスのみとし、ダブルスは禁止する。

【禁止種目】 バスケットボール、フットサル、サッカー等

- 禁止種目においても、個人で実施する場合もしくはシュート練習等のコンタクトを伴わない場合は、許可する。

(3) 利用人数制限

- 体育館(1F)における運動を伴う活動時の利用人数の上限は、50人とする。
- 体育館(1F)における運動を伴わない活動時の利用人数の上限は、100人とする。
- トレーニングスペース(2F)の利用人数の上限はウエイトトレーニング機器が設置されているスペースを20名、自転車エルゴメータが設置されているスペースを4名、その他のスペースを20名とする。

(4) その他

- 冷水器および製氷機の使用を禁止する。

4. 卒業研究等におけるゼミ室利用について

- ゼミ室(16名収容)の利用人数を10名に制限の上、胎内Cでは12室を確保する。
- 2022年度前期については3・4年次生のみ卒業研究用の使用を可とし、ただし4年次生が優先的に占有可能なように各コースの指示に従う。
- ゼミ室内での飲食を許可する。
- 飛沫リスクが想定される際(ディスカッション時、喫食時等)は、利用者が仕切り版を設置する。
- 食事場面以外はマスクを着用する。
- 喫食前後は利用者が机等をアルコール消毒し、ゴミ類は所定のゴミ箱に処分する
- 換気扇は常時稼働の上、利用者はドア・窓の開放等による定期的な換気を徹底する。
- その他、「胎内キャンパス卒研用占有ゼミ室利用に係る使用方法」を遵守する。

5. 図書館・室利用について

- 胎内キャンパス図書館の開館時間を9時～18時、新潟キャンパス図書室の開館時間を9時～17時とする。
- 入館人数は胎内C図書館を30名、新潟C図書室を7名とする。
- 自習で利用する場合は、長時間の滞在は禁止とし、併せて視聴覚資料の視聴不可、学外者の利用不可、グループ学習室(胎内)の利用不可とする。
- 図書、文献複写については郵送(送料は利用者負担)により対応する。

6. 学内滞在可能時間について

- 学部生、大学院生それぞれに以下のとおり学内滞在可能時間を定める。
- 以下に該当しない時間帯等の滞在を希望する場合は、必ず事前に事務局総務課に連絡すること。

【学部生】

《大学休業日以外》

- 滞在可能時間は8時～20時までとする。
- 20時以降も学内滞在を要する場合は、「夜間学内の滞在延長申請書」を事前提出し、且つ管理監督者が付き添うことを条件に原則22時までの在館を認める。

《大学休業日》

- 大学休業日は、「大学休業日におけるキャンパス入構届出書」を事前提出し、且つ管理監督者が付き添うことを条件に8時～16時までの在館を認める。

【大学院生】

《大学休業日以外》

- 滞在可能時間は8時以降からとし、授業終了後速やかに退館することを原則とする。
- ただし、研究等滞在目的が明確な場合に限り20時までの在館を認める。
- 20時以降も学内滞在を要する場合は、「学内滞在申請書」を事前提出し、許可を得た活動に限り原則22時までの在館を認める。
- 8時以前に入館を希望する場合は、「学内滞在申請書」を事前提出し、許可を得た活動に限り原則6時からの入館を認める。

《大学休業日》

- 大学休業日は「学内滞在申請書」を事前提出し、許可を得た活動に限り8時～16時までの在館を認める。

7. 遠隔授業スタジオ

- 胎内キャンパスはF101(セミナールーム)とする。
- 新潟キャンパスはA208(ゼミ室)とする。

8. 入構時の検温について

- 胎内キャンパス入構時は、A棟、K棟、J棟に設置された自動検温器での検温を必須とする。
- 新潟キャンパス入構時は、正面出入口に設置された自動検温器での検温を必須とする。

以上